

寺報

龍正寺

日なた 115号

いのちに合掌

相手に対し

思ひやりの心

日
延



<平成29年 12月>

宝龍会
護持会

金華山お題目塚供養に 参加させて頂きました



今年もお題目塚供養に参加させて頂きました。



岐阜県日蓮宗青年会による唱題業。
金華山にお題目が響き渡りました。



ご祈祷の様子デス



堀上人の挨拶



参加された方々の様子



傍島岐阜県宗務所長の挨拶



天田布教師会会長の法話

金沢団参 妙立寺他へ 行ってきました



妙立寺御住職張田上人の法話を傾聴しました



「お題目を唱えることでお寺が栄える」と張田上人が言われた事が印象的でした。自分自身お題目を唱え始めてから少しずつ体調が良くなり、現在どうにか人並みに仕事をさせて頂けるまでになりました。これからもお題目を毎日唱えようと改めて思いました。



親子3代で「ハイポーズ」



妙立寺の客殿で休憩。
「ふくさまんじゅうおいし〜い」

「降水確率90%」との前日の天気予報通り雨は降りましたが、バスから降りて移動の時には不思議と雨が小降りになりました。今回も龍正寺パワーは健在だと実感しました。



金沢の冬の風物詩「雪つり」
街のあちこちで見られました



突然降ってきた「あられ」
写真にもハッキリと映るほどの大きさでした

常不輕菩薩品第二十

我^が深^{じん}敬^{きよう}汝^に等^{とう}
 我^{われ}深^{ふか}く汝^{なん}等^{だち}を敬^{うやま}う

不^ふ敢^{かん}輕^{きよう}慢^{まん}
 敢^あえて輕^{きよう}慢^{まん}せず

所^{しよ}以^い者^{しや}何^が
 所^ゆ以^えは何^{いか}ん

汝^に等^{とう}皆^{かい}行^{ぎよう}菩^ぼ薩^{さつ}道^{どう}
 汝^{なん}等^{だち}皆^{みな}菩^ぼ薩^{さつ}の道^{どう}を行^{ぎよう}じて

当^{とう}得^{とく}作^さ仏^{ぶつ}
 當^{まさ}に作^さ佛^{ぶつ}することを得^うべし

あなたも 常不輕菩薩のよう
 わたしも

昔むかし、インドにみすばらしい姿のお坊さんが
 いました。出会う人ごとに「私はあなたを敬います。
 決して輕んじたりしません。あなたは今から仏教の
 修行をして、必ず悟りを得た仏様になられるからで
 す」と合掌をして拝みました。拜まれた人は喜んだ
 と思いきや、気味悪がって怒り出したというのです。
 棒でたたき、石を投げる。このお坊さんは石のとど
 かないところまで逃げて、また同じことを繰り返す
 のです。「決して輕んじたりしません」誰ともなく
 このお坊さんのことを「常に輕んじない菩薩」すなわ
 ち常不輕菩薩と呼ぶようになったといわれています。
 これは法華經というお経に書かれているお話です。
 そして常不輕菩薩はお釈迦様の前世のお姿なのです。
 合掌も、感謝の合掌から、
 相手を敬う不輕菩薩の合掌、
 南無妙法蓮華經の合掌と、
 段々、よりありがたく深くなってきましたね。
 これが日蓮宗の合掌なのです。



= 任職一言 = (中部教区降誕800年宗門記念法要)

平成29年、師走を迎え皆々様、慌ただしい事と思います。

宗門に於いては、宗祖日蓮大聖人降誕800年を平成33年2月16日迎えるにあたって本年から色々な行事が行われ

ります。テーマとしては「立正安国・お題目結縁運動」

スローガンとして「いのちに合掌」です。

平成29年11月26日中部教区に於いて、身延山法主猗下

日蓮宗管長導師により、降誕800年記念法要が日本特

殊陶業市民会館にて1200人の檀信徒を迎えお

こなされました。何分にも各寺院の人数制限があり皆

様に声をかけることが出来なく、当山でも役員の方々に出

席していただきました。

女性講談師 一龍斎貞鏡師による、日蓮大聖人一代記御

誕生から立教開宗までの講談、

日蓮宗布教師 豊田慈證上人「いのちに合掌」新しい誕生する

命に合掌、私たちの生命カとなる食物すべての命をいただく

事に合掌、合掌していただきます、合掌してごちそうさま、感

謝・思いやりの心、また私たちは相手の事を思いやりの

出来る心が必要ではないだろうか、ある老人が毎朝新聞配達にくる少年に声を掛るが返事もしない事で、新聞屋さんに行き、お宅の配達する少年に声を掛けても返事もしないと云いに行った所、少年には耳にも目にも障害のある事を聞き、老人は配達に来る少年に白い大きな紙に大きな字で「いつも新聞を配達してくれてありがとう」と書き、少年に向かって見せた所少年は笑顔で深く頭を下げ配達に向っていった。相手の事を見たままで、腹を立てず、相手の事を考え、思いやる心があれば毎日が穏やかに過ごすことが出来るとの法話でありました。

最初に出させていたたいた書は記念法要の法話に読んだお経です、常不輕菩薩品第二十 法華経の中に説かれているお経です、その中の一説ですゆくりお読みいただき、下にはその解説があります、皆様方の心の中にどの様に思われるでしょうか(何回でもお読み下さい) 平成29年度寺報はまた、ホームページを拝読していただきありがとうございます、皆様様の生活中、少しでもお役にたてればと思います、幸せな生活が送っていただけます様、お祈り申し上げます。

合 掌

～ 団参での学びで人間力の向上 ～

先月、2年に1回の龍正寺団参が成就しました。

今回は金沢の忍看手 妙立手参拜と近江市場でした。

初めは参加者の申し込みが少なく淋しい気持ちもありましたが、出発の10日前には不思議な事に30名ほどになりました。

天候も不安定な状況でした。金沢では雨…。しかし、いつもの龍正寺ハローです！ 参拜者が移動する時には、小雨で傘をささなくても良いほどでした。

今回は母が初めて参加しました。病気の事もあり不安でしたが、息子や孫も参拜するので親子三代の参加できるこの時に、母も一緒にと思いました。そして皆さんと楽しく参拜も出来ました。帰路の時間も30分遅れになっていましたが、龍正寺到着は予定より早く着く事が出来ました。

しかし、ホッとしたのもつかの間でした。

皆さんが帰られた後、母がいない事に気がつきました。お手で休憩しているとばかり思っていました。

役員の三名の方、御住職と一緒に捜して下さいました。

「しまった!! 最後になんか事になっちゃった。」役員として娘として申し訳ない事をしてしまったと思いました。

警察に連絡した方がいいかと思った時に、御住職から電話がありました。文化センター近くの駐車場の受付の人が、母が道に迷ったので「お手に電話して下さい。」とお願ひしたとの連絡があった事を伝えて下さいました。全身から力が抜けました。

日頃、長時間歩くと事のない母が、道に迷い1時間半ほど歩き続けていたのです。バスを降りてすぐ側のお手へどうして行けなかったのか？。いつも通る道なのに…。ほっとした気持ちと同時に行立ちも出てきました。

母の顔を見たとき、"大丈夫？ どうしたの？ 何故？"責めるつもりはなかったのですが、つい言葉は強くなりました。

役員のかさんが、"今後の為に対策を考えましょうね。次回、このような事が参加者の皆さんに起きない様に…。"と語って下さいました。

その日、母が携帯電話を所持していない事に気が付いたのは行方不明になった時でした。前日にカバンの中に入れておく様に声をかければ良かったと思いました。かさんの一言のおかげで、行立ちの気持ちも冷静になりました。母も"道がわからなくなり、頭の中が真っ白になり、どうしていいかわからなくなった。"と言いました。疲れと不安の中で、かわいそうな思いをさせてしまいました。

今年も色々な出来事がありましたか、その都度、心が御題目を唱えました。

そして 家族・お寺での奉仕活動・仕事を通して自己覚知する
事で大きく成長できました。人間力の向上が出来たのも日々、御
題目を唱え、法華經に歸依して行くおかげだと思っています。

心から感謝・感謝の一年間でした。

今の日本は政界、相撲界など各界の中で歪り歪出来事が横暴
しています。日蓮大聖人の立正安国論のお教えの通り、国家
安穩なかしめたまえ、国が滅びてしまえば、私達の幸せはあ
りません。真剣に、真面目に御題目を唱えましょう。

来年も色き一年になりますように願っています。

今年も「手報日なた」を愛読して頂きましてありがとうございます。

色々な経験を通して、日蓮大聖人のお教え、法華經のすばらしさ
に 出会えた方々の思いを伝えていきたいと思っています。

是非、手報「日なた」に参加しませんか？ お待らしてあります。

『出来ないと言わない』

とにかく自分は「出来ない・出来が悪い・わからない」と言っていて、苦手な事をやろうとしたくない、遠ざけてしまうことが時々ありました。特に器械は...

昔に比べ操作が複雑怪奇になっているため覚えられない事がたくさんあります。

今の時代、スマートフォン・タブレットも難しいと感^じてしまう。

パソコンも最初はとても苦手で意味もわからない事がたくさんありました。仕事で必要に迫られたため、ここ7~8年パソコン教室に通っています。

やはり努力のかけあって何かパソコンのトラブルがあっても対処ができることが多くなってきました。

先に出来が悪いと言っていて覚えようとしたくない宣言をして成長を自分自身でストップさせていたんだなあと思うようになりました。

TVでとある女社長さんを取りあげていました。父親から会社を手伝ってほしいと言われ、後に社長になってほしいと言われ、鬼小娘おにこ思っている時に夫から「出来ないとはい」とポジティブな言葉に後押しされ社長へなった方の話でした。

この話を見ていた時に「できない、できない」と言っていたら前に進まないと、変わらないとという選択をしていること...

意識を変えることでクリアできることが必ずあります。まずは出来るか出来ないとはいか、やっつけての結果で決めていいのてはいいか、まずは挑戦の準備を...

< 12月の行事予定 >

- 12月3日(日) 9:00~ 大掃除
終了後 役員会
- 13日(水) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
釋尊成道会
大古久尊天祈願会
- 18日(月) 10:00~ 鬼子女尊神 祈禱会
七面大明神
- 31日(日) 23:45~ 年越読誦会

< 住職の予定 >

寺院にて法務

< 12月の予定 >

- 12月6日~12日(火) 各々の時間で 清掃、準備
- 13日(水) 法要後 片付け、準備
- 14日~17日(日) 各々の時間で 清掃、準備
- 18日(月) 法要後 片付け、準備
- 19日~27日(水) 各々の時間で 清掃、準備
- 28日(木) 10:00~ 飾り付け